

3年間で全24行政区で展開！ 「美郷町地区別定住戦略」

ちくせん
ニュース第1号
(令和3年8月発行)

発行元：企画情報課
問合せ先：66-3603

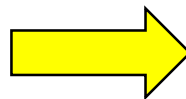
美郷町では、人口減少の加速化を前に、待ったなしで次世代の定住増加が求められています。昨年度から、地区ごとの人口分析を基に、地域の特色、課題、可能性を踏まえた具体的な定住増加の戦略づくりを行う「美郷町地区別定住戦略」事業＝「ちくせん」が始まっています。今年度は、15行政区が、それぞれ「未来会議」を開催し、段階を追って戦略の原案づくりが進んでいます。

開始年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地区名	神門中区、鬼神野区、峰区、和田区、長野区、入下区	水清谷区、渡川区、上野原区、小川区、仮迫区、花水流区、若宮区、小原区、中原区	神門下区、神門長堀区、神門上区、坂本区、下区、中区、上区、秋盛区、黒木区

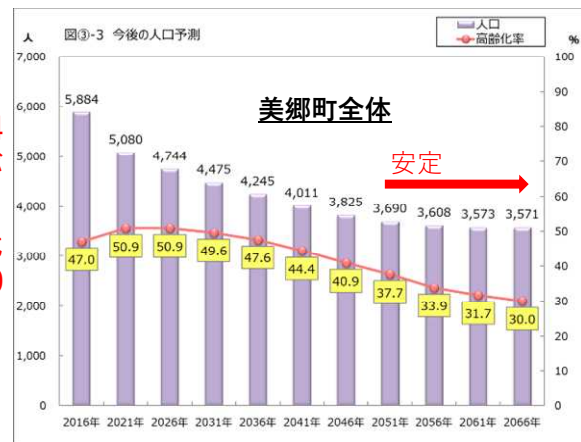
第1段階＝「人口分析」

持続可能な未来に変えることができます！

今のままでは、20代女性を中心とした人口流出を十分に取り戻せていないために、人口減少と高齢化が急激に進行します。しかし、**それぞれの行政区で年に1世帯の定住増加が実現すれば**、人口の安定が見えてきます。



1年当たり24世帯の定住が増加（20代男女8組＋30代夫婦8組＋60代夫婦8組）
※出生率向上と流出率抑制とも連動条件



全行政区の人口分析・予測も出来ており、人口安定に必要な定住増加目標もわかっています。

第2段階＝「現地調査と地元関係図」づくり

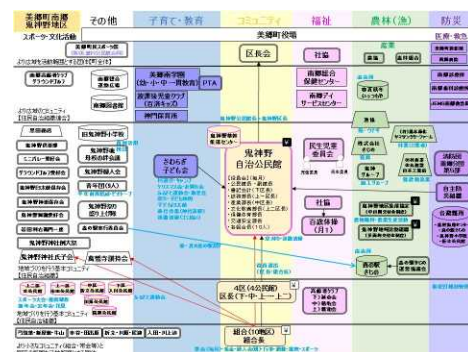
各行政区を回って聞き取りや現地調査を行うと共に、地域を構成する組織や団体、活動を一枚の関係図にまとめていきます。

現地調査～資源や課題、魅力

地元関係図作成例～鬼神野区



行政区ごとに多彩な活動を展開



分野ごとに、本当に沢山の組織、団体がありませんか？

第3段階＝「未来会議Ⅰ」～「地元天気図」づくり

行政区の「地元関係図」を基に、次世代の定住を実現していく上で、各行政区の現時点での強み（＝高気圧）や弱み（＝低気圧）をまとめ、わかりやすく地域の課題と可能性を「地元天気図」としてまとめ、今後の定住実現の取り組みの方向を見出していきます。各行政区ごとに区長から推薦された10～20人程度の委員が集まって、話し合いを進めます。

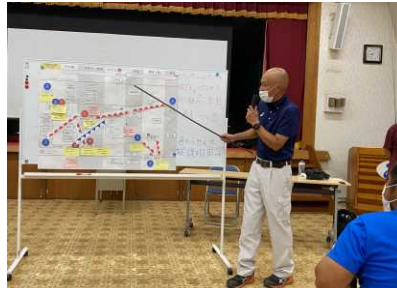
①ペタラン、ヤング、役場職員のチームを結成



②高気圧、低気圧、台風マークを貼っていく



③グループ発表で成果を共有します



第4段階＝「未来会議Ⅱ、Ⅲ」～「戦略原案」づくり

行政区ごとの人口分析や「地元天気図」を踏まえ、来年度からスタートする「ちくせん」事業の原案づくりや、実際に事業を展開する実行委員会を組織します。

地区別定住戦略の原案構成

- 全体目標、3本柱
- 行政区を表す漢字一文字、色
- 各分野の事業案
- ①情報発信、②定住促進
- ③女性、若者、子育て
- ④産業・仕事づくり
- ⑤暮らしサポート
- ⑥総合的な拠点や組織など



これからの動き～今年度そして来年度

今年度スケジュール

●R2始動の6行政区

- 5月
- 6月 未来会議Ⅱ
- 7月 未来会議Ⅲ
- ※以降、実行委員会が主体
- 8月～住民アンケート配布
- 9月～住民アンケート回収
- 10月 戦略作成作業
- 11月 //
- 12月 まとめ作業
- 1月 事業計画書の提出
- 2月 事業計画書を承認

●R3始動の9行政区

- 現地調査と地元関係図作成
- 未来会議Ⅰ
- 12月に延期
- 地区別報告会（4地区）
- 地区別報告会（5地区）
- 未来会議Ⅱ
- 未来会議Ⅲ
- ※以降、実行委員会が主体
- アンケート配布・回収
- 戦略作成作業・まとめ作業
- 事業計画書の提出
- 事業計画書を承認

来年度スケジュール

●R4始動の9行政区

- 5月 現地調査と地元関係図作成
- 6月 未来会議Ⅰ
- 7月 地区別報告会（5地区）
- 8月 地区別報告会（4地区）
- 9月 未来会議Ⅱ
- 10月 未来会議Ⅲ
- ※以降、実行委員会が主体
- アンケート配布
- 11月 アンケート回収
- 戦略作成作業
- 12月 まとめ作業
- 1月 事業計画書の提出
- 2月 事業計画書を承認

※令和3年度中に事業計画書の承認を受けた行政区は、令和4年度から3ヶ年継続事業を展開予定。

※令和4年度中に事業計画書の承認を受けた行政区は、令和5年度から3ヶ年継続事業を展開予定。